

平成24年度事業実績報告

I. 事業の概要

ゆめこうばにおいては、平成23年度に『就労継続支援B型事業』（以下「就労継続B型」という）へ移行し、特に大きな問題もなく運営を行ってきている。

昨年度末に利用者2名が退所し、本年度は利用者33名での事業開始となったが、この2名の退所理由は、いずれもケアホームへの移住に伴うものであった。その理由は様々であろうが、同居家族の健康面の問題がきっかけとなることが多いようだ。

今後もこのような動きが続くことが予想される。利用者・家族とのコミュニケーションを更に密にし、早期に情報収集し、適切な対応が取れるようにしなければならない。

II. 運営状況

1. 法人運営

(1) 法人指導監査について

12月21日、岡山市監査指導課による法人指導監査を受け、以下の文書指導事項が通知された。2月19日の評議員会・理事会にて改善策を諮り、いずれも対応している。

- ① ゆめこうばの就労継続B型移行に伴い、定款に記載する事業が変更となっているので、定款変更を行うこと。
- ② 理事に1名欠員が生じているので、早急に補充すること。
- ③ 業務委託契約の審議において、利害関係を有する理事が加わっていることが認められたので、今後は理事会の運営を定款に基づき適正に行うこと。

(2) 定款変更について

2月19日、3月26日の評議員会・理事会において、以下の定款変更が承認され、現在、所轄する岡山市へ変更申請している。

- ① 上記(1).①の監査指導事項に伴い、第1条（目的）において、実施しなくなった旧事業（知的障害者通所授産施設の設置経営）の記載部分を削除。
- ② 第5条（役員の数）第4項において、副理事長の設置と選任方法の規定を追加。
併せて、第10条（理事長の職務の代理）を「理事長に事故あるとき又は欠けたときは、副理事長が職務を代理する。理事長、副理事長がともに事故あるとき又は欠けたときは、法人が運営する施設の施設長もしくは事業所の管理者が職務を代理する。」と変更。
- ③ 第31条（公告の方法）について、定款準則に沿って『官報』を追加。（岡山市障害福祉課より口頭指導事項）

(3) 農場整備について

昨年度、ゆめこうばの横にある医療法人の所有する土地に農場を整備したが、本年度は、近隣に住む農作業に長けた方のボランティア支援を受けて土壌改良を進め、試験的に農作物を栽培できるまでに至った。来年度より、徐々にゆめこうばの就労支援事業として農作業を実施していく。

2. ゆめこうば運営

就労継続B型移行に伴い、「利用者の就労を継続して支援していく」というサービスの目的に則って、利用者の作業や行事等あらゆる面において就労を意識した支援を実施している。

(1) 利用者状況

本年度は、定員35名のところ、昨年度からの継続利用者33名での事業開始となったが、1月末に1名が退所（他の就労継続A型事業所へ転所）し、3月末時点では32名となっている。

12月14日（金）、感染症が疑われる体調不良で欠席するとの連絡が多数あったので、罹患者

増加防止の緊急措置として、同日を臨時休業日とした。岡山市保健所や嘱託医の指示の下、各種対策を実施。罹患者についてノロウイルスやサルモネラ菌、腸炎ビブリオ菌などの検便調査も実施したが、いずれについて誰からも検出は出来なかった。

最終的には職員を含め17名が体調不良を訴えたが、幸いにも重篤者はおらず、更なる感染拡大もなく、17日(月)にはほぼ全員が快復したため、18日(火)よりパン・冷凍うどんの製造も含め、通常通りの営業を再開した。

□年間利用率：90.6% ※定員35名・利用通所日数：248日ベース

□利用者個別の平均出席率：96.4%（前年度：95.1%）

【平均利用者負担月額】

サービス費負担額：0円 + 食費負担分・送迎費：5,283.4円 = 5,283.4円

cf. 17年度(支援費制度)：1,238.4円、18年度：20,090.3円、19年度：12,389.0円、

21年度：7,092.5円、22年度：5,607.6円、23年度：5,345.4円

(2) 年間行事実績

4月：お花見遠足（鷺羽山展望台・瀬戸大橋記念公園）、5月：健康診断・若葉祭り、
6月：ボーリング大会、7月：社会科見学（岡山天文博物館）、8月：避難／消火訓練、
9月：スポーツ大会（山陽ハイツ体育館）、10月：交通安全教室・パーベキュー&小運動会、
11月：インフルエンザ予防接種・健康診断・もみじ祭り、12月：クリスマス会（※中止し年末お楽しみ会へ振り替え）、1月：成人式、2月：節分会・避難／消火訓練、3月：契約説明会

(3) 職員状況

施設長以下正規職員5名、常勤パート3名の常時9名で運営。管理者(施設長)、サービス管理責任者(1名)、職業指導員(3名)、生活支援員(3名)、目標工賃達成指導員(1名)の人員配置である。2月末付けでパート1名、3月末付けで正規職員1名が退職することとなったため、その補充とすべく福祉系大学新卒者2名を4月からの正規職員として採用した。

障害福祉サービスの質の向上を図る目的で、平成21年度から開始された「福祉・介護人材の処遇改善事業」により、6月賞与時に平均24,000円を支給。また、福祉・介護人材の処遇改善事業に替わり、本年度から開始された「福祉・介護職員処遇改善加算」を原資とした職員処遇改善事業により、期末手当として平均135,900円を支給した。

(4) 就労支援作業状況

① 作業種目別収支状況（資金収支決算書ベース）

単位：千円 ○内は前年比

授産種目	収入	支出				差額
		製造原価	販管費	経費率(前年)	工賃	
冷凍うどん	1,796 (97.3%)	1,310	411	95.8% (103.3%)	575	-500
パン	5,590 (97.8%)	3,490	555	72.4% (67.3%)	1,212	334
リサイクル	1,316 (104.2%)	13	67	6.1% (4.4%)	309	927
喫茶	334 (78.5%)	358	16	111.9% (87.8%)	153	-193
軽作業	2,354 (132.6%)	191	688	37.3% (39.5%)	2,047	-572
CD販売等	6 (600.0%)	2	0	41.2% (7.4%)	0	4
計	11,396 (103.4%)	5,363	1,737	62.3% (62.4%)	4,296	0

↳(a)

例年通り、冷凍うどんの製造・販売、手作りパンの製造・販売、リサイクルの粉詰め替え、喫茶室での販売・接客、マスク・テープのサブ帳作製、ポテトチップ菓子の製造、自動車用ゴム部品のバリ取り、菓子の箱詰め、老人保健施設の清掃等の作業を実施した。

昨年と比較し、冷凍うどんやパン、喫茶の売上ダウンを、リサイクル作業と軽作業でカバーし、全体として371千円の増収となった。最終的には資金収支決算書ベースで約778千円の黒字となり、利用者へ平均24,319円の期末手当を支給することができた。

利用者の平均工賃月額以下となり、過去最高となった。しかし、本年度策定した「工賃向上計画」では、本年度の目標額を12,000円としていたが、それには及ばなかった。

□平均利用者工賃月額 ((a)÷393人月) ⇒ 10,931.1円

Cf. 県内の平均工賃月額状況 ※別紙「平均工賃の推移」参照	19年度		23年度	
	定員	工賃月額	定員	工賃月額
知的障害者通所授産施設	677	9,684	70	14,043
就労継続支援B型	546	9,402	2,231	10,936
障害者施設全体	2,133	13,140	3,344	24,632
ゆめこうば	30	8,614	35	9,915

② 工賃向上対策

平成19年度から5ヵ年計画で実施した「工賃引き上げ計画」の終了に伴い、新たに3ヵ年計画で「工賃向上計画」を作成し、目標工賃達成指導員を中心に工賃アップに取り組んでいる。本年度は、岡山市セルフセンターによる「ZAGZAG 店舗でのセルフ商品販売事業」に参加し、マフィンの委託販売を開始した。大幅な売上増とはなっていないが、この取り組みにより得たノウハウを生かし、今後、他店舗での委託販売を模索していく。

(5) 監査指導・実地指導等について

12月21日、岡山市障害福祉課による事業所の指導監査を受けたが、大きな問題はなかった。また、県からの権限委譲に伴い、本年度より事業所の所轄が岡山市（事業者指導課）へ移ったが、本年度は岡山市による実地指導は実施されなかった。

(6) 設備整備状況

本年度、事務所のFAXコピー複合機のリプレイス（約709千円）と、厨房の温熱消毒保管庫（約231千円）を整備した。また、農作業に活用すべく、公益財団法人小山基金の助成金により、ミニ耕うん機1台を購入した。（助成額90千円）

3. 財務状況（法人全体）

① 経理区分間繰入金を除く資金収支決算書（前年対比）

単位：千円

勘定科目		本年度	前年度	増減	前年比
福祉事業活動による	収入				
	訓練等給付費	61,291	59,739	1,553	102.6%
	利用者負担金	0	0	0	----
	特定費用(食費・送迎費等)	2,082	2,245	-163	92.7%
	職員処遇改善事業助成金	0	1,584	-1,584	0.0%
	通所サービス等利用促進補助金	0	570	-570	0.0%
	事業運営安定化補助金	0	1,372	-1,372	0.0%
	寄附金	508	528	-20	96.1%
	雑収入	1,390	1,576	-185	88.2%
	受取利息	8	6	2	121.2%
	計	65,279	67,620	-2,341	96.5%
支出	人件費	34,468	33,690	778	102.3%
	事務費	6,350	6,564	-214	96.7%
	事業費	5,404	7,892	-2,488	68.5%
	支払利息	725	847	-123	85.5%
	計	46,946	48,993	-2,047	95.8%
収支差額		18,333	18,627	-294	98.4%
施設整備等による	収入	90	0	90	----
	支出	940	1,190	-250	79.0%
財務活動による	収入	290	0	290	----
	支出	6,727	6,724	3	100.0%
当期資金収支差額合計		11,046	10,713	333	103.1%

- ② 法人借入金元金+利息で7,135千円を償還。来年度は7,012千円を償還予定。
借入金残高：40,710千円 【内訳】福祉医療機構 37,730千円（平成35年度まで）
県福祉事業団 2,980千円（平成25年度まで）

III. 理事会および評議員会 () 内は参加者数

(1) 理事会

- ① 平成24年5月22日（理事：5名、監事：2名）
議題：評議員の選任、平成23年度決算報告について
- ② 平成25年2月19日（理事：6名、監事：0名）
議題：欠員に伴う評議員の選任、理事長の職務代理者順指名、平成24年度補正予算、定款の変更、社会福祉法人等指導監査について
- ③ 平成25年3月26日（理事：7名、監事：1名）
議題：定款の変更、平成24年度2次補正予算、平成25年度事業計画および当初予算、ゆめこうば運営規程の変更、契約時の職務代理者について

(2) 評議員会

- ① 平成24年5月22日（評議員：9名、監事：2名）
議題：平成23年度決算報告について
- ② 平成25年2月19日（評議員：11名）
議題：欠員に伴う理事の選任、平成24年度補正予算、定款の変更、社会福祉法人等指導監査について
- ③ 平成25年3月26日（評議員：10名）
議題：定款の変更、平成24年度2次補正予算、平成25年度事業計画および当初予算、ゆめこうば運営規程の変更、契約時の職務代理者について

以 上

《平均工賃の推移》

(円)

	障害者施設 県全体	知的障害者 通所授産施設	就労継続支援 B型事業所	ゆめこうば
平成19年度	13,140	9,684	9,402	8,614
平成20年度	13,986	9,290	10,463	9,325
平成21年度	16,663	9,428	10,656	9,260
平成22年度	21,137	11,199	10,510	10,200
平成23年度	24,632	14,043	10,936	9,915
平成24年度				10,931

